

宮城県助産師会便り

みやぎ子育て・女性健康支援センター

20120314 発行第 6 号

983-0045 仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 7-48-101

一般社団法人宮城県助産師会

あれから 1 年..
私たちにできることを

ごあいさつ

副会長 石川初枝

==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==

東日本大震災から 1 年
被災した方は、深い悲しみを抱えながら復旧、
復興に動き出したが依然多くの課題と向き合っ
ています。

今後も皆様の継続した、ご支援とご協力をお願
い申し上げます。

本会事業につきましては、昨年は誌上総会に
なりましたが、一大事業の東北ブロック研修会
は、皆様の協力の元開催することができました。
また、母子支援事業が新たに加わりましたが 3
月末で終了することになりました。

4 月 21 日（土）は総会です。

大勢の方のご意見を頂き、会運営に反映させていただきますので、よろしく願いいたします。



平成 24 年度一般社団法人総会のご案内

平成 24 年 4 月 21 日(土) 仙台市エルパーク仙台 6 階ギャラリーホール

10:00 基調講演 13:00 総会 万障お繰り合わせの上ご参集下さい。

平成24年度一般社団法人宮城県助産師会

理事・役員改選（案）

==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==

現在の自薦・他薦者

一般社団法人宮城県助産師会

| | | |
|----|--------|----------------|
| 理事 | 理事長 | 後藤美子 |
| | 副理事 | 石川初枝 |
| | 副理事 | 後藤あき子 |
| | 理事(会計) | 山岸和子 |
| | 理事 | 伊藤朋子 |
| | 監事 | 新田みつ子 |
| 役員 | 教育委員 | 新田みつ子 |
| | 災害対策委員 | 塩野悦子 |
| | 安全対策委員 | 伊藤朋子 |
| | 勤務部長 | 高橋純子 |
| | 保健指導部長 | |
| | 助産所部長 | 小野由紀子 |
| | 会計監査 | 坂詰昌子悦子 斎藤清子 |

みやぎ子育て・女性健康支援センター

| | |
|-----------|-------|
| 代表 | 石川初枝 |
| 副代表 事務局兼任 | 田村雪子 |
| 会計 | 加藤由美 |
| 会計監査 | 高津真理子 |

自己推薦・他薦者は、3月25日(着)まで、新田みつ子会長まで、

メールまたは郵送、またはお電話を下さい。(締め切り厳守)

震災を振り返って

石巻 ほんだ母乳育児相談室 本田由美

==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==

震災で、相談室をご利用いただいたお母さんが3人、子供たちが8人亡くなりました。ご主人を亡くされたお母さんが2人います。精神科やカウンセリングに通い始めたお母さんも2人です。

原稿の依頼をいただき、改めてあの日を振り返ったとき、思い出すのは地震の後の妙な静寂です。あの時、家の200メートル先まで津波がきていたことも後で知りました。その後の私は、身内の安否確認に3日かかって、その日その日を生きるだけで精一杯でした。電気が通って暖房器具が使えるようになった一週間後、乳腺炎のお母さんが玄関に立っていました。電話が通じないので、直接来たとのことでした。それからは、一週間に1～3人ペースで、車が使える方がみえました。避難所からの方もいました。沿岸部で津波被害が大きかったところからお母さんたちが来れるようになったのは6月に入ってからだとおもいます。

被災地母子支援事業は、たくさんの母乳育児をがんばっているお母さんたちを支えてくれました。当相談室の利用者は半壊・全壊や震災により経済的に困難になった方が8割なので、大変喜ばれました。自宅・実家ともに全壊で4人目の授乳中の方が2人、5人目の方が1人おります。

11月にはいつて、津波に足を捕られながら3才と5か月の子供を抱えて逃げたお母さんから PTSD を疑わせるような訴えがありました。震災後から何度か会っているお母さんだったのですが、このような訴えは初めてで、今になってでてくる心の傷の深さに恐ろしさを感じずにはいられませんでした。

被災地にいる私に何ができるか、自問自答しながらお母さんと赤ちゃんのそばにいたいと思います。天国にいつてしまったたくさんの方々のご冥福をお祈りいたします。

3. 1 1 「安全・安心に子を産み育てるために」宮城県委託事業終了

エルソーラ仙台2 8階大研修室にて

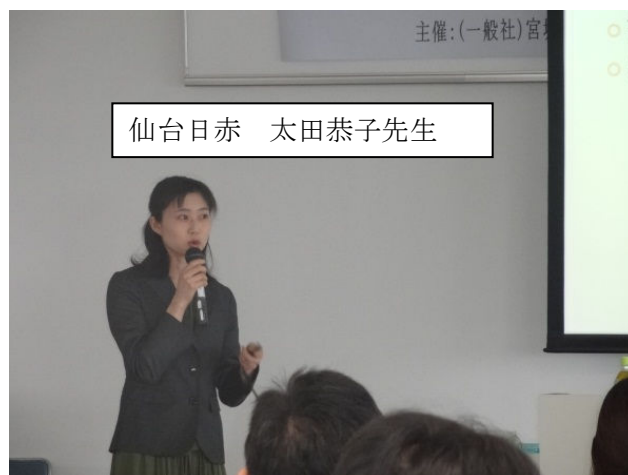
==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==

会場確保がおしりも、3. 1 1 震災の日になり、後藤副会長の司会にて全員で黙とうをし、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。

仙台日赤病院の太田恭子先生の講演「安全なお産のために」。太田恭子先生には昨年も講演をお願いしました。素敵な女医先生です。今年は子育てのお話も織り交ぜて、より親しみ易く拝聴させて頂きました。放射線のこともご講義頂き、参加者から安堵の声が聞かれました。

そして、「子育てはふたりで」は当会会長新田みつ子。妊産婦に優しい骨盤体操は、一昨年から助産師会のためにボランティアで体操をして頂いている、助産院 light Snow 7jh@a 山口之雪。その後は沐浴や抱っこ、抱っこひも、スリング体験等和气あいあいと楽しい時間を過ごしました。参加者 15 名、スタッフ 14 名の参加でした。

アンケートは、大変よかった。満足した。内容はよくわかったとの記述がほとんどでした。



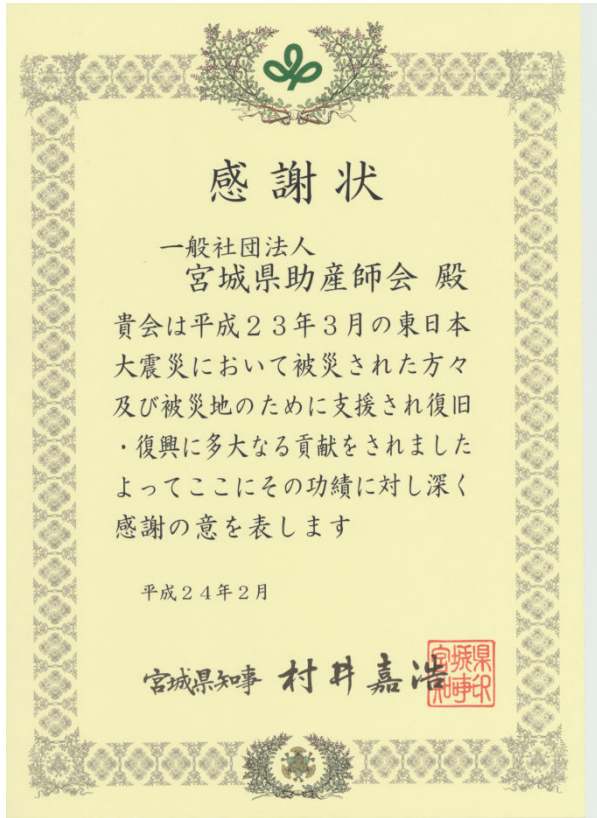
山口之雪さん
カイロ有資格の開業助産師です



ピジョンさんから母乳育児支援グッズの見本をお預かりしています。講義・講演の際にご活用下さい。

宮城県知事様より感謝状が届きました

3, 1 1の当会の母子支援事業が評価されました。今後とも私たちにできる身近な支援を続けたいものです。



災害時の助産

～震災後のとも子助産院～

とも子助産院 伊藤朋子

==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==

2008年に宮城大学と兵庫県立大の「ユビキタス社会における母子看護と災害対策」という研究ワークショップに参加させて頂いていたことが、今回の震災にあたり、とても役に立ちました。その時備えた、反射式石油ストーブや、非常用水・アウトドア用燃料・備蓄用食品、などで、お湯の用意・調理・哺乳瓶の煮沸消毒や母児の保温が出来ました。ライフラインは4日間ストップしましたが、極限の困窮を経験せずに過ごすことができました。震災後の混乱期に分娩は2件ありました。スキーウェアを着こ

んでお産介助。いつでも外に避難できるように、常にみんな厚着していました。

普段より、分娩は明りをおとした環境で行っていたので、ランタンや懐中電灯の明かりで分娩すること自体はなんら問題なかつけれど、普段は助産師3人態勢で行っている分娩を、スタッフが出勤できず助産師1名で対応しなければならず、緊張を強いられました。余震が頻発し、母児を家族と離してお預かりしていることに不安があったので、早期退院していただきました。その時のお母さんが今回また赤ちゃんをさずかり、この秋出産予定で予約して下さっています。嬉しいなあ、こんどこそ、ゆったりと安心ないいお産をしていただきたいなあと思っています。

停電の4日間、助産院の玄関にランタンを灯し、助産所が健在であることを示しました。また、助産所のできることで、できないこと、母乳を飲ませつづけることの大切さなどを、分娩用の防水シートでポスターを作り、玄関に貼りだしました。雪の中、相談に見えた妊産婦さんに、「助産師さんに診てもらえて安心した。」と言っていただけでした。

しばらくして、助産師会の災害対策委員会が開催してくださった心のケアセミナーに参加させていただき、臨床心理の中谷先生が「スーパーマンでも疲れる頃よ。休んでいいのよ。休んで下さい。」と下さり、実際はどうやって休んだらいいのかも分からなかったけど、「つかれた。しんどい。」って言うてもいいんだなああとホッとしました。

去年の3月のことは、録画したビデオを再生するように、何度も何度も思い出します。在宅で看取るつもりで介護していた父でしたが、震災後、十分な手を尽くせずに亡くし、同じ季節がめぐってくるのだと思うと、また心がざわざわします。主治医から、「後悔してはいけません。明日のこども達の為に共に生きましょう。」と

FAXをいただいたのが、昨日のこのようで、また涙がこぼれます。

街の様子はきれいになりつつありますが、復興とは名ばかり、人々の心のほころびが、いま表面化しつつあるように思います。被災母子支援で入所や訪問・来所でさまざまな体験をされたお母様達の話の聞きました。被災直後は、大丈夫！がんばります！の一本調子でしたが、今になって、ただ抱き合っ一緒に泣くことしかできないような時もあります。

長くなるのであろう復興へ遠い道のりを、会員の皆さまと共に、歩いて行きたと思います。今後ともご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==+==*==
編集後記

書記 田村雪子

10年間を思い出しています。息子が高校入学、娘が中学入学という子育てがやっと一息のときから、書記をやらせて頂きました(手が離れたらお金はかかりました)。私は助産師会があったから、世の中に出させて頂いていると感謝しております。人間、必要に迫られればパソコン、パワーポイント、HPアップ、メール操作もできるようになるものですね。先輩方から仕事をご紹介頂き、楽しい仕事をさせて頂いております。諸先輩方に感謝しつつ編集後記と致します。